

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2022 市民／学生応募用紙

<b>自治体提示の地域課題名</b> (注1)	No. 47-21-2	自治体提示の地域課題名 コミュニティ同士の交流や、新参加者の参加を促進する仕組みづくり	自治体名 神戸市 長田区
<b>チームがつけたアイデア名</b> (公開) (注2)	コネクト長田の実現		

(注1) 地域課題名は、COG2022 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

### 1. 応募者情報 赤字部分は削除して該当の番号を記入

<b>チーム名</b> (公開)	兵庫県立長田高等学校 共生社会 4D班		
<b>チーム属性</b> (公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	<u>3</u>	
<b>メンバー数</b> (公開)	4名		
<b>代表者</b> (公開)	伊藤 瑞希		
<b>メンバー</b> (公開)	後藤 優花、松田 真生子、西澤 日向子		

#### **【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。**

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2022\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2022 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin\_cog2022@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：  
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。  
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アトバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

<b>アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認</b>	<b>○</b>
--	----------

- (1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

#### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をやる社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたいなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。〈応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください〉

長田区における著しい若年層の減少、  
多様で豊かなコミュニティの活用不足

〈この課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます〉 〈アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。〉

〈よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です〉

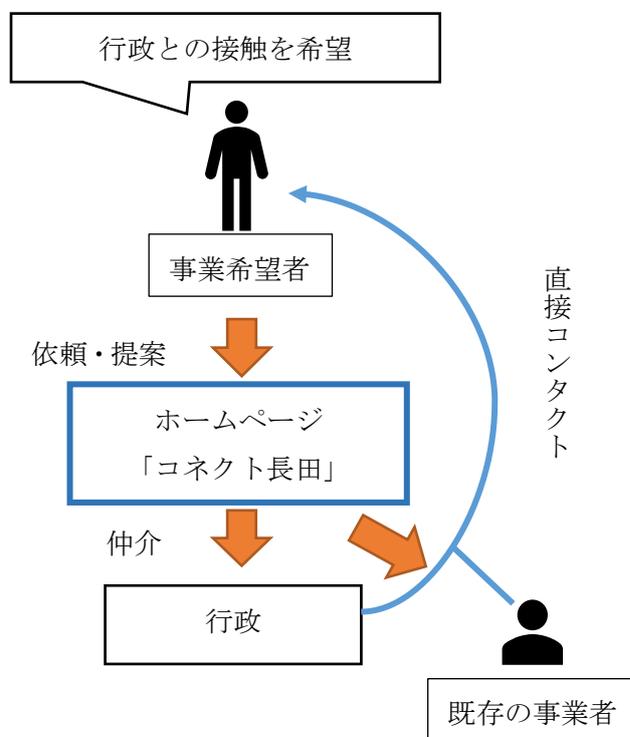
#### ◎コミュニティの形成

既存のコミュニティが多数存在する神戸市長田区。ほかの地域と比べても、その温かいコミュニティが多く目につく。しかし、全体のコミュニティと、個人と、行政と、直接「つながる」サイトというものは存在しない。

長田区と密接に、簡単に、「つながる」ことのできる新しいインターネット上のコミュニティ、《コネクト長田》の設立を私たちは提案する。

《コネクト長田》の具体的内容は以下のパターン二つに分化される。

#### パターン I



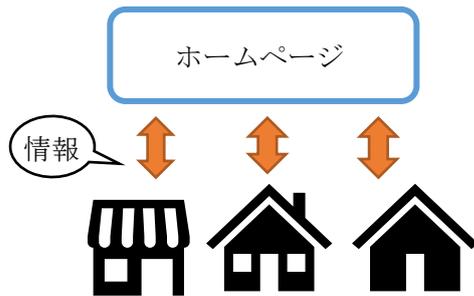
#### パターン I

- ※ 地域活性化事業希望者（起業、地域参加型新規イベント立ち上げ等）がホームページにインターネット上で行政協力、既存の事業者へ直接接点を依頼。
- ※ ホームページが「仲介役」となり、行政、事業者同士をつなげる。
- ※ 行政担当者や既存の事業者と事業希望者同士で合同セッションの場を設け、実現に向けたサポートを行う。  
例：活動内容から実現までの宣伝

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

#### □ パターンⅡ



#### パターンⅡ

- (1) 長田に既に存在するコミュニティ同士をホームページ：「コネクト長田」を通してインターネット上で結び、情報交換を推進。  
→あくまで仲介役として「つなげる」  
非居住者にもわかりやすい宣伝
- (2) イベント開催やコミュニティ活動の一環として新規雇用を呼びかける  
例：アルバイト等の非正規雇用

#### 補足 雇用・創業プロジェクト

長田区内で「コネクト長田」を活用した雇用・創業プロジェクトの実施を提案する。

新しく若年層が起業や就業できるように、長田における創業支援や求人情報を一括してまとめたサイトをホームページと同時に設立する。ホームページ作成に際し、雇用詳細を称したミニポスター的なものを掲示する。

例：コミュニティ内での新規人材募集

イベント開催に対応したボランティアスタッフ、有償スタッフの募集

会社/イベント等見出し  
会社名、  
活動内容（一言で）  
時給・期間  
リンク等、その他詳細

〇〇会社新規スタッフ募集！  
〇〇会社長田部署  
一般事務スタッフ募集  
1500~/h、2023.1.2月～  
△△.co.jp

新規長田居住者の獲得を狙うと共に、気軽に地域参画が可能となるメリットを持ち合わせている。新規起業希望者に対しては「神戸市スタートアップ立地促進事業募集要項」等の補助金の多さをアピールして事業立ち上げを促進する。

## (2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説

## 2. アイデアの説明（公開）

### (2) アイデアの理由（公開）

明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するというアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかを上記のデータを示しつつ書いていきます>

私たちは、2022年8月10日に長田商店街にて実施したアンケート調査や同年10月8日のアーバニスト・イン・レジデンスでの活動を通して長田区の地域の人々の温かさに触れ、人々のつながりの強さや下町感ある長田の町の特徴に気づいた。さらに同年11月11日に長田高校で行われた、行政との会議(意見交流)において、再度長田の住民の魅力やコミュニティの多様性を知り、そこで課題として挙げられたコミュニティが認知されていないという現状に着目し、長田の既存のコミュニティがよりよく機能し、認知される仕組みを作りたいと考えた。

既存のコミュニティをどう生かすかを考えるにあたって、再び行政と会議を行ったところ、現在長田区には多種多様なコミュニティがある一方で、コミュニティ同士をつなぐ役割が存在していないことや、インターネットの活用がうまく出来ていないことに気が付いた。そこで私たちは、数多くあるコミュニティが一目で分かるように統括する組織のようなものが必要だと考える。

また、この《コネクト長田》があることによってコミュニティ同士や個人とコミュニティだけでなく、個人と行政をつなぐことができ、新しいことを始めたいが直接行政に行くことに抵抗がある人も気軽にアクセスできる体制を作り、新しいことにチャレンジするハードルを下げるができることと考える。この取り組みでは、起業希望者などの個人と長田区などの行政の間を取り持つことができ、行政はその起業希望者に直接補助する体制ができる。行政がサポートしてくれるという安心とその行政につながるための第一段階としてこの《コネクト長田》があることにより、長田で起業するメリットを提示できると考える。

実際に行政が行える補助としては補助金や起業時に利用できる空き家を改修した場所を提供できる個人の紹介などがあり、補助金の多様さ、多さがアピールできる。

(資料；表1 神戸市スタートアップ立地促進事業募集要項の一部抜粋)

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）



(アーバニスト・イン・レジデンスの様子)



(長田高校にて行政との会議の様子)

既存のコミュニティの例



(はっぴーの家ろっけん)



(コミュニティハウス)

補助内容	補助率	備考
賃借料	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助対象経費の 1/2 以内</li> <li>1 補助事業者あたり 最大 90 万円/年</li> </ul>	
人件費	<ul style="list-style-type: none"> <li>定額</li> <li>1 補助事業者あたり 最大 200 万円/人・年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者に制約あり</li> </ul>
建物改修費	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助対象経費の 1/2 以内</li> <li>1 補助事業者あたり最大 100 万円</li> <li>空き家、空き店舗を活用する場合は、別途 100 万円を上限に加算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象となる建物に制約あり</li> <li>補助期間; 事業所開設時 1 回限り</li> </ul>

\* 補助金を受けるにはヒアリング、応募書類による選考あり

(表 1)

### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大きな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大きな流れ**について、**2 ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

#### (1) 実現する主体

- 主体**
- ・各コミュニティのリーダー
  - ・行政（長田区総務部まちづくり課）の代表
- 協力**
- ・学生
  - ・コミュニティ全体
  - ・行政（長田区）全体
  - ・民間企業（不動産会社） 等

#### (2) 実現に必要な資源規模と調達方法

- ・ **システム運用に必要なサーバ**

行政に存在する既存のアプリ（例：ためまっぷながた）のデータや設立に携わった人々の協力を得て、具体化へ努める。

- ・ **システム運用費**

初年度：300 万円（初期費用）150 万円/年程度

→長田区役所のサイトで試験的運用を実施し、その結果に応じて民営化へ  
今後のホームページ活用方針や初年度の活用具合に応じて金額を変更する。

活動に際し、クラウドファンディングや長田区地域づくり活動助成金や寄付金を運用。

#### ※長田区地域づくり活動助成金とは

長田区内で一定の審査を通過した団体が補助金を受けられる制度。

##### 【立ち上げ期（活動期間：1～3 年目）】

年度あたり 30 万円を上限として、予算の範囲内で助成。

##### 【自立支援期（活動期間 4～5 年目）】

立ち上げ期助成をうけた活動のうち、資金計画がしっかりしており、助成終了後も活動の継続が見込まれる活動に対して、以下を上限として予算の範囲内で助成。

4 年目：助成対象経費の 4 分の 3 もしくは 22.5 万円のいずれか低い方の額

5 年目：助成対象経費の 2 分の 1 もしくは 15 万円のいずれか低い方の額

引用源：[神戸市長田区：長田区地域づくり活動助成 \(kobe.lg.jp\)](http://www.kobe.lg.jp)

## 2. アイデアの説明（公開）

## (2) アイデアの理由（公開）

### (3) 実現にいたるまでのプロセス

~2022.12	長田区に置ける問題調査、 長田区での考え方に関連したアンケート調査、分析
2023.1~	実現に向けた資金調達 クラウドファンディングの実施準備等を行う  長田区内の異業種交流イベントや地域交流イベントにてコミュニティについての説明を実施 学生によるプレゼンを通し、プロジェクト実現に向けてコミュニティ関係者や事業者の生の声を得る。イベントの一例としては「ナガタお好み焼きセッション」等が挙げられる（下図）  コミュニティの実態調査 長田区に存在する既存のコミュニティについて事業者名に始まり、活動内容や問題点について情報収集を始める。この調査を通して得られたデータを元にホームページを作成する。
2023.秋以降	ホームページ作成
2024.3~	ホームページ試験運用開始 初年度はコミュニティの宣伝や運営を行政が中心となってい、細かいサイト運営に長けた人材の募集を同時に開始する。

